

左官職人



建築現場などで壁や床に「塗り」をおこなう専門の仕事です。コテという道具を使って、土やモルタルなどの材料をていねいに飾り塗り、表面をたいらに整えていきます。レンガやブロックの積み上げや、経験豊富な技術も必要な「飾り塗り」なども手がけます。昔ながらの土壁を塗る技術など、機械ではできない日本の伝統を守る役割もあります。建物を長持ちさせたり、見た目をきれいにしたりするために、とても大切な仕事です。



このお仕事についてきっかけ

親の紹介で入社しました。未経験だったこと、左利きなど不安はいっぱいでしたが、たよれる先輩たちがから細かく教えてくれました。続ければ技術が身について、仕事が楽しくなります。

CHECK! 左官職人ってどんなお仕事をしているの？

● 下地塗り



下地は建物全体の仕上がりや強度に大きな影響をあたえます。下地造りがうまくいかないと、その上から仕上げて上手にできません。どんな仕上げをするにも下地が一番重要です。

● 仕上げ塗り



漆喰や珪藻土、モルタルなどの材料を使い、壁や床の表面を仕上げる作業です。見た目ですが耐久性も重要なので、ていねいな作業が必要です。材料の配合具合や塗り方で見た目が変わるため、絶対に手はぬけません。

● 工事管理



経験を積むと、複数の職人をまとめる役目もします。この役割を「職長」と言い、現場の安全管理や仕上がりチェック、資材の手配もおこないます。現場の状況を理解し、適切な指示をだせるコミュニケーション力が必要です。

こんな人も働いています！

- ネコ部長 ソラくん

この会社に教えてもらったよ！

職人の技で明日へ挑戦！ 有限会社沢目左官工業所

盛岡市名須川町17-1 ☎019-622-5945

創立/1980年12月 従業員数/16名



個別沢目左官工業所

会社見学 OK 出張授業 OK (要相談)

CHECK! 有限会社沢目左官工業所はこんな仕事をしています

● 作業前の段取り



職長と工事部長が話し合いをします。使う材料や工事の方法、現場の規模や作業内容によって人数や配置を決めていきます。現場では他の業者と一緒に作業することが多いので、進行状況などを細かく報告します。

● 新人への教育



昨年倉庫の2階を練習場に改装しました。入社後はまずコテの持ち方から教わります。技術はマニュアル化することがむずかしいため、先輩にしっかりと教えてもらいます。その後、少しずつ現場経験を積んでいきます。

● 技術向上のための資格取得



経験を積みながら、資格取得を目指します。左官技能士の国家資格だけでなく、高い場所の作業のためのフルハーネス特別教育など、必ず現場で必要なものもあります。資格取得にかかる費用は、すべて会社が支給します。

CHECK! 福利厚生が充実しています

住宅手当や子供手当、育児休業などの制度が手厚く、長く働きやすい職場です。急な家族の病気にも休みがとれ、家族を大切にしながら働けます。また、練習場で壁の塗り作業や床のならし作業を体験できます。最初はむずかしいけれど、コツがわかると楽しいです。

